

ご 挨拶

東京都歯科医師連盟 会長

大 越 壽 和



本歯科医師連盟は、昭和26年2月11日に結成以来、令和2年をもって創立70周年を迎え、先人の重なる努力と熱意の積み重ねにより、今日の確固たる組織となりました。

平成23年3月11日、東日本大震災そして、福島原発事故をはじめ、各地域に起こった異常気象による風水被害等この10年間という年月には枚挙にいとまないほどの出来事がありました。この間にも、様々な選挙が施行されました。

平成29年7月2日の都議会議員選挙では、小池百合子都知事率いる都民ファーストの会派が自民党会派を圧倒し、55議席獲得、一方、自民党は57議席から23議席に後退し、公明党との連立も困難な状況に追い込まれました。令和3年7月4日に都議会議員選挙が開催されます。捲土重来を期して都議会自民党の後援に全力を挙げてまいります。そして、令和元年7月21日の第25回参議院比例代表選挙においては、比嘉なつみ氏が惜しくも次点となりました。また、令和元年4月の統一地方選挙では都歯連盟会員2名が落選し、厳しい選挙となりました。

そして、元号も平成から令和に移り、令和2年には、世界に拡大した新型コロナウイルス感染症が全世界を席卷し、パンデミックを引き起こしました。令和3年に入り、緊急事態宣言も再発されました。そして、国家の事業や2020年東京オリンピック・パラリンピックも延期となりました。本連盟でも支部長・代表者会や新年会、諸会議が中止または延期となり、Web会議も多くなりました。

そんな中、第141回日本歯科医師連盟臨時評議員会において、山田 宏日本歯科医師連盟顧問が日歯連盟推薦候補者に決定されました。令和4年の参議院議員選挙には全面支援してまいります。

平成19年より発足した東京尚歯会も井上信治会長のもと、13名の東京都選出自民党衆議院議員の先生方とともにコロナ禍でも盛会に開催されています。都議会自民党議員との連携において不測の事態に対応してまいりました。

今回、このように70周年の記念誌を発行できますことは望外の喜びであり、関係各位に感謝申し上げます。

また、本来は、創立70周年の記念式典も企画し、挙行する予定でありましたが、コロナ禍における状況を鑑みて、年度内の開催は見送ることといたしました。

この記念誌に記念式典のことを掲載できないことは誠に残念ではありますが、ご理解いただければ幸いです。

まだ難題も山積しておりますが、これからも会員の先生方のご協力・ご理解を賜り執行してまいります。東京都歯科医師連盟が、70周年を契機に80周年に向けて飛躍し、なお一層の充実した歴史を積み重ね、末永く受け継がれていくこととともに、会員の皆様のご健勝を衷心よりお祈り申し上げます。